



みんなで家庭教育！

6月26日、可児市いじめ防止専門委員会の特別顧問に就任され12年目となる尾木直樹先生をお招きし、「尾木ママの子育て相談会」を開催しました。尾木ママの優しいアドバイスに、たくさんの子育てのヒントと元気をもらいました。尾木ママのアドバイスをダイジェスト版でご紹介します。きっとご自身の子育てにつながるまなびを得ていただけると思います。

ちょっと教えて！ 尾木ママの子育て相談会 Q&A



Q1 小5小2の兄弟です。兄の弟に対する嫌がらせや暴言がしつこく、弟の反応を面白がってなかなかやめられません。弟はすねたり泣いたりするぐらいでやり返すことは少ないので、どうしても兄ばかり怒ってしまいます。親がいないところでは、小さい子に優しくしたり弟とも仲良くしたりしているようですが、親の前ではけんかばかりです。兄に対して、つい感情的に怒ってしまうのが悩みです。

- A** 親が見ていない所で兄弟の仲が良いというのは、友達から聞いたんですね。こういう話を聞けるのはありがたいわね。これから、こういうつながりを大切にしてほしいですね。
- ・親の前以外で仲が良いということは、それほど深刻ではないということ。問題は、お母さんとの関係にあるの。反抗期の中学生なんかでも、先生に叱られることで愛を感じる子がいるんです。わざと叱られることをして、逃げ切らない。つまり、甘えているんです。関わってほしいということなんです。
 - ・兄弟平等に接しているつもりでも、どうしても下の子に手がかかるのよ。下の子が生まれて上の子が赤ちゃん返りをするのがよくありますが、それと同じ。お兄ちゃんに対して、大人扱いをするといいですね。「あなたは思うの？」と自己決定をさせる。お母さんが、正しい結論だけを「～しなさい」と言うと、ますますわざとしつこくするの。お母さんとお兄ちゃんとの関係が、対等で尊重し合える関係になるといいわね。試してみてください。
 - ・「怒る」と「叱る」は違うのよ。感情的に怒ると怖い。叱るというのは、説明するという。叱る厳しさも必要で、子どもたちも怒られることは嫌いだけど、叱られることには納得しますよ。

Q2 小3男子について相談です。学校に行きたくない、習い事を休みたいとたびたび言う息子にどのように接するのがいいでしょうか。「頑張ったらおやつ食べようね」などと励まして効果もなかったり、「今日だけね」と約束して休ませて同じ事のくり返しだったりで、疲れてしまいました。

- A** 今、こういう子がとても増えています。不登校の子は24万5千人、行き渋りは33万人。2016年に教育機会確保法という法律ができました。お父さんお母さんの子どもの頃には学校を休むことは悪いことという考えだったけれど、今は、学校外の教育機会も充実させようという動きです。
- ・東京都では、不登校経験者のためのチャレンジスクールが6校あります。不登校は高校受験に不利だということはないの。岐阜県も多様な学びの場がたくさんありますよ。
 - ・不登校は非行などの「問題行動」とは違い、どの子もなり得ること。登校を焦らず、子どもが生き生きと元気に過ごせることを考えてあげて。自分の中で確固たるものができると、ある日突然行くようになる子もいます。
 - ・勉強の遅れが心配かと思いますが、生活年齢が上がるので、学ぶ気になれば後からあつという間に追いつきます。
 - ・できるだけ学校以外の居場所を見つけて、家に閉じこもらないようにしてほしいです。大丈夫ですよ。

Q3 小5男子にそろそろ子ども部屋を持たせようと思っています。年齢を考えると部屋にこもることも多くなるのではという心配もあります。部屋を持たせるにあたり、決め事や親として気を付けるとよいことがあれば、教えてください。

- A** 「住育」といって、どういう環境が子どもの教育に良いかということが研究されています。家族にとって一番大切な場所はリビング。陽が入り明るく居心地の良い空間。子どもが勉強するのに一番効率の良いのもリビングなんです。
- ・東京大学の学生にどこで勉強をしていたか調査したところ、最も多かったのがリビング。自分の部屋は下位回答でした。なぜリビングでの勉強がよいかというと、集中できるからなんです。兄弟の声や食事の支度の音など人の気配がある方が集中できるというんです。全く音のしない静かな所より、図書館など人がいる方が仕事ははかどるということがあられるでしょう。人がいるという安心感が集中力につながるんです。長机で家族それぞれ勉強するとかね。
 - ・子ども部屋の役割は「寝るだけの部屋」。こんな部屋に長いたくない、とリビングに来るぐらいがちょうどいいです。ドアを閉めきらず、明かりが分かるようにしておくのも大事。カーテンはブルー系やベージュ系の無地が良いという結果もあります。テレビやスマホの持ち込みはだめよ。

Q4 最近 PTA の在り方や先生の働き方改革による学校行事、部活動等の見直しについて報道されています。PTA として、子どもたちのため、学校のために力になれたらという気持ちで活動していますが、学校側から見た PTA とはどんな存在なのでしょう。

- A** 率直に言えば学校の活動に協力してもらいたいということですよ。PTAは強制ではなく任意団体です。日本のようなPTA活動は国際的に見ると珍しく、アメリカのPTAは日本のように親睦的役割の面と、政治的に陳情するような役割の面があります。
- ・PTAの在り方が見直されていますが、大切なのはうまくいっている所に学ぶことです。例として、習志野市の秋津小学校が有名です。基本は「子どものために」ではなく、親や地域の大人が「自分達のために」活動して、そのことが結果的に子どものためになるという形なんです。大人が主役になって楽しむことで、高齢者が生き生きと活動して子ども達との関わりが生まれ、資格をもつ親の強みを生かした個性ある活動を行ったり。それが子どもに良い影響として波及しているんです。
 - ・「子どものために」ということを前面に出しすぎると、義務感で「うちはこんなにやっているのに、あそこは…」と不公平感や亀裂が生まれます。「やりたい人がやりたいことを楽しんで」という発想の転換で見直し、子どもの文化も豊かになるといいですね。

Q5 ゲームや YouTube の時間が守れません。平日 1 時間・休日 3 時間と約束を決めていますが、終わりの時間を知らせるとイライラし始め、時間が終わるとさらにイライラして「やることがない、暇」と言います。依存症ではないか心配です。また、ゲームや YouTube の影響からか、口が悪くなってきた気がします。

A・うちも同じ悩みという方、多いですよ。これは最近の深刻な問題です。一番良いのは、ゲームや YouTube 以外に夢中になれる何かをもつということです。お母さん方でも YouTube にハマっている人、実は多いんじゃないかな。面白いし、やめられないんです。大人がやめられないのだから、子どもはやめられないに決まっています。
・これは時間を決めてもなかなか難しく、親子でイライラして家庭の雰囲気が悪くなります。なぜやめられないかというと、脳内にドーパミンという快感物質が多量に出ているからなんです。気持ちが良いんです。この快楽を「時間だよ」と無理に区切られるとキレちゃう。親も一緒にやってみると、区切りが分かります。このゲームは 1 時間よりもう少しかかるな、とかね。
・場所を限定するのも一つの方法です。リビングで家族の目が気になるからそろそろやめようとか。みんなの見守りだね。
・何か夢中になれるもの、打ち込めるものを見つけられると安心ですね。今、将棋がブームですよ。「これがいーらしいから、やりなさい」と言うのではなくて、お母さんや家族と一緒に楽しむということが大事です。勝負しよう!とかね。
・言葉遣いはものすごく影響を受けます。真似してほしい言葉遣いのものを一緒に見て、正しく教えることも大事ですね。

Q6 小 6 男子について、思春期に入ってイライラすることが増えました。そういう時期だと理解はしているつもりですが、物や妹に八つ当たりすることもあり、私もつい叱ってしまい、対応に困ってしまう時があります。思春期の子への対応のポイントや、やる気の出る声かけを教えてください。

A・思春期は、親や先生から自立しようとする時期。親から離れたいけれど、自立の基盤がないから不安なんです。その矛盾の中でイライラしてしまう。そこで大事なことは、友達です。友達に話しながら自分を客観視していきます。
・自分でも理由が分からないのにイラつく。本人にとっては結構つらいことなんです。体は第二次性徴期を迎えて急激に発達していくけれど、脳の方は遅れて発達していきます。体はどんどん変化するのに、感情をコントロールする前頭前野は 25 歳ぐらいまでゆっくりと発達する、その心と体のアンバランスが影響しています。
・特に男の子は女の子に比べて言語の能力が高くないので、おしゃべりで表現することが苦手ですよ。
・思春期の子の対応のポイントは、大人扱いをすること。子どもの意見をリスペクトすることです。子どもが生意気なことを言ったら「何言っているの」と命令形で押さえつけるのではなく、「いよいよ自立に向かってるな」と区切りをつける。子どもに「あなたはと思う?」と聞いてみることで。でも「言うは易し」で実際はそれが難しいのよ。生意気な態度に腹が立つのよね。リスペクトだね。

Q7 中 3 男子の友人関係についてです。話に出てくる友達はほぼ女の子です。女の子が好きというより、男の子の友達がいないように思います。同性の友人は必要だと思うのですが、親として見守る事しかできません。それでいいのでしょうか。

A・中 3 というところがポイントですね。これが小学生ならよくあることですが、異性を意識する時期であっても女の子と話すことが楽だということは、あまりジェンダーを意識していない、男性性が強くないということかもしれません。
・LGBT 傾向があるという可能性も考えられますが、今は受験の書類などでも性別を問う欄が無い時代です。その子自身の能力が問題で、性別にこだわる理由がないんです。先日 LGBT に関する法案が可決されましたが、男性だ女性だと分けて考える時代ではなくなりました。
・思春期の特性で性自認が Q (クエスチョン) という子も多いです。これは自然に任せて、お母さんの言う通り、見守るしかないですね。男の子と話せないという事でなければ、得なことよ。僕も 62 歳の時に明石家さんまさんに「ママ」と呼ばれて、「尾木ママ」になって、とても楽しくなったの。男性女性どちらとも、自由に話せるって考えると二倍楽しいし、優しさとか、その子らしさを大切にね。
・時代の先端というぐらいの気持ちで、おおらかに見守ってあげて。お子さんの方から何か相談があった時に、寄り添って話を聞いてあげてくださいね。

Q8 年中の女の子と 1 歳の男の子がいます。これからの時代に子どもたちにつけさせておくべき能力は何ですか。

A・今の時期は、たくさん自然に触れ合って思い切り遊ぶということを大切にしてくださいね。早期から〇〇カードなどに取り組む必要はないと思いますよ。
・これからの時代につけるべき能力について、世界中が向き合ったのが 2015 年。OECD (経済協力開発機構) のプロジェクトで 3 年かけて議論され、2018 年に出されたのが「生き延びる力」ということです。この直後、新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックが起き、日本でも全国一斉休校となりました。文字通り、「どう生き延びるか」という時代になったのです。
・今までの学力の捉え方と大きく違う背景には、AI の登場があります。今、生成系 AI が話題になっていますけれど、chatGPT なんかも「国語があまり得意ではない子の感想文を、1200 字で」と頼むと、ちゃんとたどたどしい文章でそれらしく書いてくれるんです。AI の存在により、2030 年には 40% 以上の仕事が無くなり、2050 年には完全に AI に仕事を奪われるとも言われています。子どもたちが大人になる頃には、予想もできない時代になっていきます。
・暗記型、覚えたことをアウトプットするような力は AI には勝てないです。つまりこれからの時代は、「AI を使いこなす力」が求められます。AI がもっていないものは何かと言ったら、感情や発想力。AI は今まで得た知識を繋ぎ合わせることは得意だけれど、創造力や人間力はありません。今までは IQ (知能指数) が注目されていましたが、これからの時代は HQ (人間力) が豊かであることということの方が、はるかに大事なんです。
・これからの時代は予測不能な時代。それに対応していく能力を育てるためには、自然の中で色々な経験を体感する、子どもの「原体験」を大切にしてください。

様々な質問に、一つ一つ丁寧に答えてくれた尾木ママ。「なぜそうなのか」を学ぶことで、子どもとの関係を改めて見直すことができました。尾木ママのように、我が子を「大丈夫よ」と温かい笑顔で見守る親でありたいと思います。「子育ては親育ち!」

相談会の様子が、ケーブルテレビ可児「いきマイ+ (プラス)」で放送されます。毎月第 2 土曜日からの一週間、毎日 7:00/12:00/17:00/19:00/23:30 の放送です。(場合によって変更することがあります。) 質問は月ごとにテーマを替えて放送します。

可児市役所 子育て支援課 子育て応援係 脇田 知里
電話 : 62-1111 (内線 5545) FAX : 66-1005
E-mail: kosodate@city.kani.lg.jp

